

第 12 次 第 3 回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日 時 : 平成30年3月27日(火) 13:30~14:10

会 場 : 苫小牧市役所9階 議会大会議室

出席委員 : 栗山会長、青山委員、伊藤委員、緒方委員、加賀谷委員、木村委員
(計13名) 佐藤委員、四方委員、相馬委員、寺島委員、平野委員、山上委員
山川委員

会 議 録 :

(環境衛生部次長)

本日はお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

司会を担当いたします、環境衛生部次長の入谷でございます。

本日の審議会におきまして、委員の退任に伴う変更がございましたので、ご紹介いたします。苫小牧商工会議所より、遠藤 和盛 様、連合北海道苫小牧地区連合より山上 晃 様、苫小牧市商店街振興組合連合会より青山 幾夫 様が委員となりました。

それでは、本日ご出席されている新任委員の方から一言、自己紹介をお願いいたします。

<山上委員 自己紹介>

<青山委員 自己紹介>

ありがとうございました。なお、任期は平成31年3月31日までとなっております。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

本日は、委員20名中13名が出席しており、「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」及び「同施行規則」により、審議会成立の要件であります半数以上の出席を得ておりますので、ただ今から、第12次第3回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

それでは、開会にあたり、栗山会長よりご挨拶をお願いいたします。

(栗山会長)

皆様、本日は年度末の大変お忙しいところ、第12次第3回の審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

先ほど、前任委員の交代で3名の方が変更となりご挨拶いただきましたが、改めましてどうぞよろしくをお願いいたします。

平成25年7月の家庭ごみ有料化から4年と7ヶ月が経過し、この間、家庭ごみの排出量は大幅に減少し、市のリサイクル率も道内の主要10都市において3年連続で1番をキープしているところでございます。

今年度においては、家庭ごみの燃やせるごみの約半数をしめている、生ごみの減量や、食品ロス、事業系一般廃棄物のごみ減量とリサイクルに関しての対策などを進め、更なるごみの減量とリサイクルの推進について、様々な市民周知や啓発活動が行われてきていることと思います。新年度におかれましても引き続き取り組んでいただきたいと思います。

さて、本日の審議会では有害ごみの回収方法及び資源物の回収方法の変更などについて、事務局か

ら説明を受けることとなっております。

これらにつきまして、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

簡単ではございますが、開会にあたりましての、ご挨拶とさせていただきます。

(環境衛生部次長)

栗山会長ありがとうございます。

それでは、会議規則に従いまして、会議の進行を栗山会長にお願いすることといたします。

なお、ご発言なされる場合には、委員の皆様の前にございますマイクの赤いランプが点灯していることを確認した上で、ご発言いただけますようお願いいたします。

それでは、栗山会長、よろしく願いいたします。

(栗山会長)

それでは、会議次第にしたがいまして会議を進めさせていただきます。本日の審議会は、15時の閉会と考えておりますので、議事進行へのご協力のほど、よろしく願いいたします。

それでは、議事(1) 苫小牧市のごみ量について事務局よりお願いします。

(ゼロごみ推進課主査)

苫小牧市一般廃棄物の推移について説明(資料1)

(栗山会長)

ただ今の説明に対しまして、質問ご意見等がございましたら、お願いします。

(委員)

ごみの推移表についてですが、苫小牧市は今年度、北海道の主要都市の中で人口が第4位になったということですが、人口が増えているのに、ごみの排出量が横ばいというのであれば、良い結果だと思えます。苫小牧市としても、色んな企業さんを誘致しているという実態もございますので、事業系ごみも横ばいというのは、良い結果だと思えます。人口や立地企業の数との兼ね合いというのは、検証されておられるのでしょうか。

(ゼロごみ推進課長)

ゼロごみ推進課の小泉と申します。よろしく願いいたします。苫小牧市の人口が増えて横ばいなのかというところでございますが、今回新聞等でもご覧になったと思えますが、釧路市の人口を抜いて第4位になったというところでございますけれども、人口が増えているわけではなく、釧路も苫小牧も人口は減少しているのですが、釧路に比べると減少が少ないというところで、苫小牧においても人口減少しているという現状となっております。

その中で、ごみが増えているという状況があります。資料1のグラフをご覧くださいますと、苫小牧市では平成25年7月から有料化を実施しております。他の有料化を実施している自治体を参考にいたしますと、有料化の直後、26年は減少しておりますが、27年には増加し、28年にはまた減少しているというように、増減を繰り返す傾向になっております。苫小牧市もそのような傾向にありますが、詳細な分析は行っているのかということになりますと、なかなか難しいところがあります。他市にもあるように、有料化後に一旦減り、また増えるという波があるのが現状となっております。以上です。

(栗山会長)

それでは、次に議事（２）有害ごみの回収方法の変更について事務局よりお願いします。

(ゼロごみ推進課主査)

有害ごみの回収方法の変更について説明（資料２）

(栗山会長)

ただ今の説明に対しまして、質問ご意見等がございましたら、お願いします。

(委員)

燃やせるごみの日に一緒にスプレー缶を出すというのは、ごみ収集カレンダーに燃やせるごみ、有害ごみ、というように別々に掲載される形になるのでしょうか。それとも、燃やせるごみの日に有害ごみを出してもよいというような、中身だけの変更になるのでしょうか。

(ゼロごみ推進課長)

ごみ収集カレンダーの記載としましては、燃やせるごみの日、月１回の燃やせないごみの日という記載のみでございまして、有害ごみはクリーンとまこまいという、別冊のごみの分別ガイドを２８年に配布しております。その中には記載があるのですが、現状としましては、月１回の燃やせないごみの日に排出してくださいというご案内だけで、カレンダーの変更というのは今後もない状況です。

市民の皆様には排出していただく日を、月１回の燃やせないごみの日から、週２回の燃やせるごみの日に変更をお願いしますという説明を、これから町内会さんや、出前講座などあらゆる場面で説明させていただきたいと考えているところでございます。以上でございます。

(委員)

年末年始の大掃除で、スプレー缶など普段出ないごみも出ました。その際、どこに捨てればよいのかという話が家族の中でも出ましたが、家族は把握していなかったもので、友人などにも聞きました。有害ごみを別袋で出すというのは、電池については皆知っていたのですが、スプレー缶はリサイクルマークがついていたりするので、別袋で出すという認識は私のまわりではほとんどありませんでした。それで事故が起こるのであれば、有害ごみという言葉を作ってカレンダーに載せてもよいのではないかと思います。

町内会での説明と先ほどおっしゃっていましたが、私は高齢者の多い離れた地域に住んでいるのですが、町内会への説明会を市役所の方に開いていただいても、参加する方はいつも決まっていて、説明を聞きに来る方はあまりいません。クリーンとまこまいの冊子も家にはあるのですが、なかなか開かないのが実状なので、有害ごみという言葉があるだけで違うと思います。

先ほど、カレンダーには載せないとおっしゃっていましたが、後々のこともありますので、載せることを検討するという事も考えてはいただけないかと思いました。

(ゼロごみ推進課長)

ご意見ありがとうございます。今年度、４月以降のカレンダーは配布しておりますので、そちらを変えるのは難しいですが、再来年度以降のカレンダーにつきましては、今回意見をいただきましたので、より市民の方がわかりやすいような形を考えてまいりたいと思います。先ほど町内会のお話もいたしましたので、資料にもございますように、９月以降改めて広報とまこまいにも掲載したいと考えておりますので、我々としても広く周知を図っていきたく思っておりますが、またご意見がありましたら、よろしくお願いたします。

(栗山会長)

それでは、次に議事（3）資源物の回収方法の変更について事務局よりお願いします。

(ゼロごみ推進課主査)

資源物の回収方法の変更について説明（資料3）

(栗山会長)

ただ今の説明に対しまして、質問ご意見等がございましたら、お願いします。

<質疑応答なし>

(栗山会長)

それでは、次に議事（4）食品ロス削減に向けた取組について事務局よりお願いします。

(ゼロごみ推進課主査)

食品ロス削減に向けた取組みについて説明（資料4）

(栗山会長)

ただ今の説明に対しまして、質問ご意見等がございましたら、お願いします。

<質疑応答なし>

(栗山会長)

他にないようでしたら、事務局からの説明は以上となります。

次にその他といたしまして、何か皆様からご意見ありますでしょうか。

<質疑応答なし>

(栗山会長)

事務局からはどうでしょうか。

(ゼロごみ推進課主査)

次回の審議会についてですが、7月頃に予定しておりますので、決まり次第ご案内申し上げます。以上です。

(栗山会長)

それでは、本日の審議会はこれで終了いたします。

委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

(環境衛生部次長)

栗山会長ありがとうございました。

ここで、本年度をもって退職されます環境衛生部長の西田より、ご挨拶いたします。

(環境衛生部部長挨拶)

3月をもちまして定年退職いたします。

この第12次につきましては、新しい提案などいただきまして、誠にありがとうございます。あと一年間残っておりますが、先ほど委員の方から、人口は減少しているが、ごみ量が増えているのではないかというご質問があったと思います。確かに、家庭ごみ有料化を実施しまして、その翌年度からぐっとごみ量が減って現在に至っておりますけれども、有料化は市民に対するかなりの動機づけになり、かなりの量が減っております。各都市についてもその後は、増減を多少繰り返すというような状況ではございますが、苫小牧におきましては、拠点回収を強化して、そちらのほうにごみを流そうという取組も進めてきたところです。このまま増減を繰り返すとは思っておりません。基本計画の中では、平成32年度に530gにしたいという目標を立てております。2月末現在の人口で単純に計算しますと、547gになってしまいます。3月というのは人口が減るため、550gになるのではないかとこのころを心配しております。有料化当時の目標が550gなので、そこに戻ってしまうという心配でございます。ですから、来年度以降も、ごみの減量には充分配慮しながら、色々な政策を進めていかなければならないと考えております。

7月には新しい部長を迎え、減量審を行います。色々なテーマで、こんな事をやりたい、委員の皆様から、こんな事をやったらどうだなど何でもよいのでごみのことで気がついたことがあればご発言いただき、私たちだけの目線ではなく、皆さんの目線からもご意見いただければ参考になると考えておりますので、その辺も含めてお願いを申し上げ、感謝のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

<拍手>

(環境衛生部次長)

以上で、本日の審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。